



平成31年度予算案をお知らせします	2・3面
セカンドライフ相談会	4面
高齢者肺炎球菌ワクチンの費用助成は3月31日まで	5面
市からのお知らせ	11面から
引越シーズン 手続きはお早めに	12面

平成31年度予算案 | 一般会計 689億7,580万円

新年度の施政方針(概要)

新時代！先人の叡智と努力から謙虚に学び、市民参加と協働の深化で創る持続可能で「誰一人として取り残さない三鷹の未来」

平成31年度の市の予算案が、2月22日から始まった市議会定例会で審議されています。新年度は、改元により新しい時代の幕が開く年です。時代の転換期を迎え、持続可能で「誰一人として取り残さない三鷹の未来」を実現する年度と位置付けました。

先人たちへの尊敬と感謝の念を持ちつつ、市民参加と協働の深化を実感していただける取り組みを進め、現在の187,000人の市民の皆様の暮らしに寄り添い、当面の人口増加傾向とその後の人口減少という人口構造の未来を見据えて、財政面や人財面での構造的な厳しさにしっかりと向き合い、「誰一人として取り残さない三鷹の未来」の実現に取り組んでいきたいと思ひます。

予算案の概要については2・3面で紹介しています



三鷹市長
清原慶子

平成31年度は、「平成」という時代が節目を迎え、三鷹市政においても、過去を振り返り、現在を見つめ、未来を洞察することが有意義であると考えます。私は三鷹の歴史、これまでの人々の暮らしやまちづくりの叡智と努力から謙虚に学び、市政の理念をしっかりと継承しつつ、市政の新時代を目指して、今を生きる市民の皆様、市議会の皆様と一緒に議論を重ね、市民の視点に立った市民本位の施策を検討し、実践していきたいと思ひます。

予算編成に当たっては、4月に三鷹市議会議員選挙・三鷹市長選挙があることから、用地取得費や国の制度変更に伴う事業費を見合わせるなど、慎重に抑制を図りましたが、防災・減災の観点から緊急を要する事業や継続性が求められる事業については適切に対応しました。

31年度の『第4次三鷹市基本計画』の第2次改定に向けて、昨年6月に実施

した「市民満足度・意向調査」では、三鷹市役所への信頼度は約85%、市政への満足度は約75%、今後の三鷹市での定住意向については約90%となっています。今後も市民の皆様お一人おひとりが、ご自身の能力や経験、努力が生かされていると実感できる地域社会を目指し、市民参加と協働の取り組みの更なる深化に向けて、ご一緒に努力したいと思ひます。

三鷹市は、27年度の『第4次三鷹市基本計画』の第1次改定で、2つの最重要プロジェクトと7つの重点プロジェクトを掲げています。私は、三鷹市が市民参加と協働で進めているこれらの取り組みは、「SDGs」の取り組みに通ずるものと考えています。「SDGs」とは、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択されたもので、「持続可能な世界」を実現するために、「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」「働きがいも経済成長も」「住み続けられるまちづくりを」など、経済・社会・環境の分野で統合的に取り組む17の国際目標です。私は、この目標を達成することが必要な場所とは、私たちの暮らしの現場である「地域社会」だと考えます。「SDGs」の「地球上の誰一人として取り残さない」という基本理念を踏まえ、31年度を「誰一人として取り残さない三鷹の未来」の実現を目指す年度と位置付けたいと思ひます。

『第4次三鷹市基本計画』の第2次改定と個別計画改定の有機的な連携による効果的な施策の展開

◆最重点プロジェクト「都市再生」について

「市庁舎・議場棟等の建替え」に向けては、30年12月に基本構想を策定することとしていましたが、隣接する三鷹郵便局との一体的な整備を含めて日本郵便㈱と連携しながら検討を進めることが確認されたため、スケジュールを見直しました。今後は、幅広い可能性を丁寧に検討し、市民のみなさんのご意見を反映しながら、省エネルギーやバリアフリー、建設費の抑制、維持管理費の効率化などを図る方向で「市庁舎・議場棟等建替え基本構想」を取りまとめます。基本構想の確定後には『基本計画』の策定に着手し、配置計画や施設機能、適正規模、事業費など、基本構想の内容を具体的な案にします。



現在の三鷹市庁舎

公共施設の耐震化率は、小・中学校の校舎・体育館は100%を達成していますが、30年度に教育センターと東部水再生センターの耐震化工事が完了し、防災上重要な

公共施設の耐震化率が100%となります。今後は長寿命化に重点を置き、施設をより長く、安全に利用するために計画的な改修に取り組みます。

◆最重点プロジェクト「コミュニティ創生」について

地域ケアネットワーク推進事業では、引き続き、サロンや見守り・居場所づくり、多世代交流などの地域の特性を踏まえた活動を支援し、地域の人財がつながり、支え合う共助のまちづくりを進めます。



地域ケアネットワーク・新川中原での設立10周年記念交流会の様子

また、買物支援事業については、大沢地域での地域連携の経験を生かし、主体的に取り組む地域ケアネットワークや福祉団体などと連携しながら、買い物しやすい環境を整備し、さらなる利便性の向上に取り組みます。

4月にリニューアルオープンする多世代交流センターでは、施設の特性を生かしながら、地域の多世代交流拠点としての機能充実を図ります。

◆重点プロジェクトについて

七つの重点プロジェクトに関連する、31年度の主な取り組みは2面をご覧ください。

市民サービスの質の向上を支える行財政基盤の確立

31年度は、個人市民税が増収となるなど、市政運営の根幹となる市税収入が過去最高となる見込みです。しかし、ふるさと納税による税の控除に伴う減収の影響が拡大の一途をたどっており、財政運営に支障が生じる状況です。地方財政を取り巻く構造的な厳しさに対峙する中で、市民のみなさんの暮らしを守ることを最優先としつつ、市民サービスの質の向上を図りながら、強固な行財政基盤の確立を目指します。

また、財政運営の厳しさが増す中で、持続可能な自治体経営を進めていくためには、行財政改革を通して、サービスの質と量の最適化を図る必要があります。

30年度には、事業の法的根拠や財源などの基本情報を整理する「事務事業の棚卸し」を実施しており、EBPM (Evidence Based Policy Making) の考え方を基礎に、全事務事業の課題や今後の方向性の整理を進め、『新・三鷹市行財政改革アクションプラン2022』の改定に反映します。

施政方針全文は
市ホームページでご覧いただけます

平成31年度の予算案をお知らせします

図 財政課 ☎内線2128

31年度予算案における一般会計と特別会計の予算総額は1,088億5,568万3千円で、前年度予算と比較すると5億8,973万9千円(0.5%)の増となります。

一般会計の予算額は689億7,580万2千円で、前年度予算と比較すると1億4,738万円(0.2%)の増です。これは、高齢者支援、障がい者(児)支援、子ども・子育て支援などの社会保障関連経費が増加したことなどによるものです。

特別会計の予算額の合計は398億7,988万1千円で、前年度予算と比較すると4億4,235万9千円(1.1%)の増です。これは、下水道事業特別会計と介護サービス事業特別会計が減となったものの、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計が増となったことによるものです。

今号では、こうした31年度予算案の概要と主な事業の内容をお知らせします。

各会計別の予算額

(単位：千円)

会計	31年度 予算額	30年度 予算額	増 減		
一般会計	68,975,802	68,828,422	147,380	0.2%	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	17,554,421	17,384,711	169,710	1.0%
	下水道事業特別会計	4,063,684	4,290,081	△226,397	△5.3%
	介護サービス事業特別会計	901,762	941,679	△39,917	△4.2%
	介護保険事業特別会計	13,093,659	12,681,860	411,799	3.2%
	後期高齢者医療特別会計	4,266,355	4,139,191	127,164	3.1%
合計	39,879,881	39,437,522	442,359	1.1%	
総計	108,855,683	108,265,944	589,739	0.5%	
純計	100,768,378	100,383,015	385,363	0.4%	

※「純計」とは会計間の重複(繰入金・繰入金)を控除した額です。
※「△」はマイナス。

一般会計と市税の当初予算額の推移

(単位：百万円)

	27年度		28年度		29年度		30年度		31年度	
	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比
歳入・歳出 総額	69,401	4.6%	69,539	0.2%	67,620	△2.8%	68,828	1.8%	68,976	0.2%
うち市税	36,433	3.3%	36,793	1.0%	37,290	1.4%	37,340	0.1%	38,059	1.9%

※「△」はマイナス。

『平成31年度施政方針・予算概要』(1冊200円)、『平成31年度三鷹市一般会計・特別会計予算及び同説明書』(1冊900円)は、相談・情報課(市役所2階) ☎内線2215で販売しています。また、「施政方針・予算概要」は、市ホームページでもご覧いただけます。

一般会計 **689億7,580万円** (1人当たり368,855円)

※「%」は一般会計予算に占める割合を示しています。
※1人当たりの金額は、31年度の人口見込み187,000人で割り戻した金額です。

歳出予算

議会費

市議会の運営に

5億1,619万円 0.8%
(1人当たり2,760円)

総務費

市役所の運営、コミュニティ、文化、安全安心対策などに

84億4,356万円 12.2%
(1人当たり45,153円)

民生費

社会保障、子育て支援、高齢者・障がい者福祉などに

354億9,834万円 51.5%
(1人当たり189,831円)

衛生費

健康増進、ごみ処理、公害対策などに

40億6,999万円 5.9%
(1人当たり21,765円)

土木費

道路、公園整備、緑化対策などに

56億1,149万円 8.1%
(1人当たり30,008円)

消防費

消防や防災対策などに

22億1,438万円 3.2%
(1人当たり11,842円)

教育費

小・中学校教育、生涯学習、スポーツ振興などに

78億3,707万円 11.4%
(1人当たり41,909円)

公債費

市債(借入金)の返済に

39億5,899万円 5.7%
(1人当たり21,171円)

その他

消費者・勤労者対策、農業・商工業振興などに

8億2,579万円 1.2%
(1人当たり4,416円)

歳入予算

市税

みなさんからお預かりする税金

380億5,950万円 55.2%
(1人当たり203,527円)

各種交付金

使い方が定められていない国・都からの交付金など

41億7,659万円 6.1%
(1人当たり22,335円)

使用料・手数料、分担金・負担金

保育料やごみ処理手数料など、みなさんに負担していただく収入

22億6,418万円 3.3%
(1人当たり12,108円)

国庫支出金

使い方が定められている国からの負担金・補助金

109億1,823万円 15.8%
(1人当たり58,386円)

都支出金

使い方が定められている東京都からの負担金・補助金

84億2,344万円 12.2%
(1人当たり45,045円)

繰入金

基金(貯金)の取り崩しなど

19億871万円 2.8%
(1人当たり10,207円)

市債

都市再生に係る事業などのための借入金

15億4,770万円 2.2%
(1人当たり8,277円)

その他

前年度決算の繰越金や財産売却収入など

16億7,745万円 2.4%
(1人当たり8,970円)

平成31年度の主な事業

※「第4次三鷹市基本計画(第1次改定)」のプロジェクトに基づき分類しています。

都市再生プロジェクト

- 市民センター内駐輪場・和洋弓場の整備 7億6,996万5千円
- 市庁舎・議場棟等建替えに向けた取り組みの推進 1,895万8千円
- 「学校施設長寿命化計画(仮称)」の策定と長寿命化改修工事の実施 4億8,949万4千円
- 下水道施設の長寿命化の推進 6億3,761万円

コミュニティ創生プロジェクト

- 地域ケアネットワーク推進事業の充実と発展 1,258万2千円
- 多世代交流センターを拠点とした多世代交流事業の実施(※) 216万4千円
- 買物環境の整備 238万3千円

(※)東・西多世代交流センターを拠点として、市民団体などが世代間交流や見守りの取り組みなどを展開できるような支援するため「多世代交流の日」を設定し、多世代交流パートナーを中心に、昔遊びや学習支援、高齢者を講師にした伝統芸能などの交流イベントを実施します。

安全安心プロジェクト

- 防犯カメラの設置や修繕などへの支援の実施 391万5千円
- 三鷹駅南口ペDESTリアンデッキの改修(※) 1億9,347万9千円
- 中仙川改修事業と雨水貯留施設の整備による都市型水害対策の推進 8億4,419万9千円
- ブロック塀の撤去など生け垣助成制度の要件緩和 591万円

(※)30年度に策定した「三鷹駅南口ペDESTリアンデッキ長寿命化修繕計画」に基づき、供用開始から20年以上が経過しているデッキの計画的な改修に取り組みます。31年度は、デッキ利用者や周辺の交通に支障が生じないよう配慮しながら、化粧パネルの撤去工事などを実施します(写真は化粧パネル撤去工事後の整備イメージ)。

子ども・子育て支援プロジェクト

- 義務教育就学児医療費助成の拡充(31年10月から) 2,931万5千円
- 私立認可保育園新規開設の運営支援による待機児童解消に向けた取り組み 4億8,914万9千円
- 学童保育所待機児童の解消に向けた取り組み 4,540万円
- コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展 1,317万1千円
- 「校内通級教室」における指導の充実 1,797万9千円
- スポット型空調設備機器の設置などの快適な学校環境の整備 1億6,006万3千円
- 地域子どもクラブなどを拠点とした子どもの居場所づくりの推進 2,853万4千円

健康長寿社会プロジェクト

- 特別養護老人ホームの整備への支援 1億円
- 休日診療所・休日調剤薬局などの一体的な整備 692万3千円
- 胃がん検診の内視鏡検査の実施 2,815万円

セーフティーネットプロジェクト

- フードバンク事業への支援 118万5千円
- 生活困窮者自立支援体制の強化(※) 1,351万9千円
- 調布基地跡地福祉施設の整備などに向けた取り組み 48万5千円

(※)相談件数の増加に対応するとともに、きめ細かな支援を行うため、家計改善・就労準備支援に係る支援員を1人増員します。家計簿の活用などにより、生活困窮の原因の見える化を図るとともに、就労準備などの適切な生活困窮者自立支援につなげます(写真は市役所本庁舎2階の生活・就労支援窓口)。

サステナブル都市プロジェクト

- 食べきり運動の推進 128万9千円
- 「公園・緑地の適切な活用に向けた指針」に基づく公園整備(※) 4,670万円

(※)30年度に策定した「公園・緑地の適切な活用に向けた指針」に基づき、誰もが安全で安心して親しむことのできる魅力ある公園づくりを推進します。地域で公園が担う機能や市民ニーズへの対応として、31年度は西部地域の深大寺公園(写真)に防球ネットフェンスなどを設置し、ボール遊びができる公園として整備します。

地域活性化プロジェクト

- 「三鷹版 働き方改革応援プロジェクト」の推進 513万1千円
- カーディーラーネットワークプロジェクト(SDGsモデル事業)の推進 32万6千円
- 太宰治生誕110年記念事業などの三鷹市ゆかりの文学者顕彰事業の推進 1,814万7千円
- 「三鷹産野菜の日」の推進 161万4千円
- 東京2020オリンピック・パラリンピックなどの気運醸成事業の積極的な推進 1,642万5千円

都市交通安全プロジェクト

- 市民センター周辺のバリアフリー化整備 566万9千円
- 「駐輪場整備運営基本方針」に基づく駐輪場の開設・運営とサイクルシェア事業の本格実施 2億3,006万3千円
- 三鷹駅南口駅前広場などの交通環境改善に向けた取り組み 297万5千円

そのほかの新規・拡充事業

情報環境の整備

- 新たな技術を活用した市民サービス向上に向けた取り組み 470万8千円
- 自治体クラウドの導入に向けた取り組み 1,720万5千円

[21世紀型自治体]の実現と都市自治の確立

- 「第4次三鷹市基本計画」の第2次改定 959万5千円

主催者 日時・期間 対象・定員 場所・会場 講師 費用(記載のないものは無料) 持ち物 申込方法 問い合わせ 保育あり 手話(要約筆記)あり

市外局番「0422」は省略しています。市役所各課のファクス番号は市ホームページ「各課ご案内」から確認いただけます。